

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【公表番号】特表2016-537043(P2016-537043A)

【公表日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2016-518744(P2016-518744)

【国際特許分類】

A 6 1 C 17/022 (2006.01)

A 6 1 C 17/028 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 17/022

A 6 1 C 17/028

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

空気駆動式歯間清掃機器であって、

ハンドル部と伸びたネックとを持つノズルとを有する機器本体であって、前記ノズルは、前記ノズルの遠位端において出口開口を具備し、歯間空間にフィットする形状のノズル先端を持つ、前記機器本体と、

制御部材を介してユーザによって前記空気駆動式歯間清掃機器が連続的に活性化されることに応じて、空気のバースト、又は、空気／液体の混合物のバーストを供給する空気源と、

前記ノズル先端におけるチャネル内に支持される、少なくとも1つの完全な回転を持つ硬い螺旋部材であって、前記螺旋部材は、前記チャネルを通じて空気又は空気／液体の混合物が移動される場合に自由に回転し、前記螺旋部材は、先端に取付けられた毛のセットを持ち、前記毛のセットは、空気又は空気／液体の混合物が前記チャネルを通じて移動され、前記ノズル先端の前記出口開口から出て、歯間表面を清掃するために前記毛のセットが回転されることに応じて、前記螺旋部材の回転とともに回転する、前記螺旋部材と、を有する、空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項2】

前記空気／液体のバーストが、スプレー又はジェットを有する、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項3】

前記螺旋部材が、1回転乃至5回転を有する、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項4】

前記ノズル先端における前記チャネル内の空気流、及び、前記出口開口を出る空気流が、乱空気流を有する、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項5】

前記チャネルが、3ミリメートル乃至10ミリメートルの範囲内の直径を持つ、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項 6】

前記螺旋部材が、約2ミリメートル乃至約5ミリメートルの直径を持つ、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項 7】

前記空気のバーストの各々のボリュームが、0.5ミリリットル乃至0.2ミリリットルである、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項 8】

前記空気のバーストの速度が、50メートル毎秒乃至170メートル毎秒である、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項 9】

運動量が、約0.009キログラムメートル毎秒乃至約0.005キログラムメートル毎秒である、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項 10】

前記螺旋部材を通じて長手方向に延在するチャネル開口を含み、前記毛のセットが、前記出口開口を囲む、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。

【請求項 11】

前記液体が、水、又は、水以外の液体である、請求項1記載の空気駆動式歯間清掃機器。
。